

## 北海道の縄文文化

### はじめに

縄文文化は約15,000年前から2,500年前まで一万年以上にわたり日本列島全体に展開した先史文化です。当時の人々は、厳しくも豊かな自然に謙虚に向き合いながら、狩猟・漁労・採集を生活の基盤とし、共生と循環の思想のもと心豊かに暮らしていました。

特に北海道においては、日本列島の大部分が水稲耕作を基盤とした弥生文化に移行した後も農耕を本格的に採用せず、続縄文文化、オホーツク文化、擦文文化などを経てアイヌ文化へと続く独自の歴史が展開しました。そのため、「自然への畏敬の念」や「共生の思想」など、命ある全てのものを尊重する精神が今日のアイヌ文化のなかにも色濃く残っています。

縄文文化の「自然と共生」する心は、現代はもちろんのこと、これからの社会のあり方を考えるうえでも普遍的な価値を含んでいます。この小冊子は、こうした縄文文化の重要性に対する理解を深めるとともに、北海道の歴史の特徴と魅力を探り、発信するために編集したものです。

### もくじ

|  |    |
|--|----|
| はじめに                                   |    |
| 北海道の地理的環境                              | 2  |
| 旧石器時代とその終焉                             | 4  |
| 温暖化と縄文文化の始まり                           | 5  |
| 縄文文化の位置づけと特徴                           | 6  |
| 北海道の縄文文化                               | 8  |
| 世界の先史文化における縄文文化の特徴と価値<br>(Simon Kaner) | 14 |
| 世界文化遺産の登録をめざして                         | 16 |

屏 写真  
上:土面 ママチ遺跡(千歳市)重要文化財  
左:土偶 著保内野遺跡(函館市)国宝  
右:土偶 美々4遺跡(千歳市)  
中央下:動物形土製品 美々4遺跡(千歳市)重要文化財

